



## 地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

### Vo.11 地域連携病院⑥ 「ホウエツ病院」

～人の集まる病院へ～ 今回は、救急医療に力を注ぐホウエツ病院を紹介します。

#### ■在宅を支える地域連携の推進に向けて

ホウエツ病院は、良質な医療および介護福祉サービスを提供するために、医療関係者、自治体などと協力して、地域の皆様から信頼される病院づくりに取り組んでいます。

少子高齢化や過疎化の問題を抱えている周辺地域において、在宅医療を普及させるため、また医療分野と介護分野における事業者との連携に力を入れたことが認められ、平成24年4月に在宅医療連携拠点事業所として採択されました。

患者さんが住み慣れた場所で生活を送るためには、在宅医療を担う医師や訪問看護師、ケアマネジャー、ヘルパー、病院スタッフたちとともに地域全体に及ぶ緊密な連携を構築していくことが必要です。林病院長はこの事業に取り組んだことによって、自院の役割や治療に関わる様々なスタッフとの連携の不十分さに改めて気付かされたといえます。

#### ■24時間の対応力

二次病院として、救急医療全般や災害時に積極的に取り組む目的でヘリポートを整備し、24時間の受入体制が可能。また、常に各医療職

種と救命士の密接な連携が取れ、病院前救護体制のレベルを引き上げることもできます。

また、災害対策面でも徳島県の災害支援病院に指定されたことで、被災者に治療の優先順位を決めるトリアージを行う、重症患者は拠点病院に搬送する、それに準じた医師の派遣や、同じ医療圏域の拠点病院が被災した場合は代替拠点となるといった重要な役割を担うようになりました。

さらには林病院長自ら隊長を務めるDMATを結成し、本年7月には県とDMAT協定を結びました。今後は、全国規模の防災訓練に積極的に参加することで、県内外の病院や自治体との連携体制を強化していくそうです。

ホウエツ病院は、常々、徳島大学病院と関わりが深く、急性期から回復した患者さんの受け入れ等、協力体制を充実させているが、これからも人材育成に力を入れていきたいとのこと。

林病院長は、最後に「患者さんのことを一番に考える医療を提供するだけでなく、職員が働きやすく長続きする職場づくりを目標に、人が集まる病院にしていきたい」と将来に向けた目標を語ってくれました。

#### 「地域医療連携」について

徳島大学病院地域医療連携センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しを目指して、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。



説明は  
**林 秀樹** (はやしひでき)  
院長

■問い合わせ  
医療法人 芳越会  
ホウエツ病院  
美馬市脇町大字猪尻字  
八幡神社下南130  
Tel.088-352-1095